

「組織横断のリアルタイムの情報共有諦めていませんか？」

複数のデバイスを持ち歩かずスマホ一台で

従業員が、
自分たちの時間に、
余裕をもてるように



I N D E X

1. 鉄道現場は課題がたくさん
2. そんなあなたの現場の課題を解決
3. 鉄道業界の情報連携に必要な機能がBuddycom 1つで
4. お客様導入事例
5. IoTとの連携 - 定点カメラ
6. 無料トライアルで実際に使ってみよう
7. 会社概要

1. 鉄道現場は課題がたくさん

情報共有に時間がかかる

- 電話やPHS等、1vs1の情報共有しかできない
- 車内から指令、指令から駅等、連絡ルートが長すぎて共有に時間がかかり、内容も**伝達ミス**がある
- 無線機は持ち運びが大変。届く距離にも制限がある



お客様に気づけない

- 落とし物や**緊急性の高い事象**が度々発生する
- そのためお客様が駅員を**呼び出したい時**がある
- 起きている事象ではなく**スタッフが来ないことに怒り始める**



バディコムを導入すると・・・

クリアな音声で世界中どこでも

- グループ通話で複数人とリアルタイムに情報共有が可能
- 組織を横断した情報共有が一瞬で可能
- 4G回線やWi-Fiを使用するので海外でも声が届く



他ツールの連携で即座に対応可

- グループ通話を利用し、現場近くにいる駅員に知らせることが可能
- 呼び出しシステム等の他ツールをBuddycomと連携し、**直接耳へ案内が流れる**ため、すぐにお客様対応できる



Buddycomを使えば、鉄道現場の課題を全て解決

これまで



- 車内で発生したことを、クルー全員に共有するのに時間がかかりすぎている。
- 広い車内で同時に問題が発生する場合があります情報共有に時間がかかりすぎている。
- 相手が言ったことを聞き逃していて再度聞き直す必要がある

これから

- イヤホンマイクのボタンを押すだけで全員へ情報共有できる
- クルー間でスムーズな役割分担ができ、**すべて並行して**対応できる。
- **話した内容がテキスト化**されるので後で確認することができる

4G、Wi-Fiなどのインターネット回線を使用し、リアルタイムなチームコミュニケーションが可能です。
電話や無線機、インカムに代わるシステムとして、現場のDX化を促進します。

【電話使用時】の従来の課題が解決！

課題1

1:1でしか会話できず、
チームで情報を共有する
場合不便



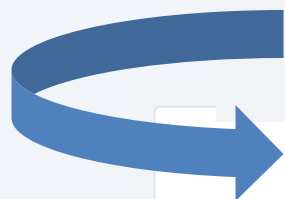
課題2

スマホの電話帳を開き電
話かける必要があり、
時間がかかる



課題3

通話データが残らず、あ
とから確認・二次利用で
きない



グループ通話

1：複数人への一斉発信により、一回の連絡でチ
ーム全員に情報共有ができます。双方向通話にす
れば相手の終話を待たずに発信できます。



一瞬で会話開始

イヤホンマイクやスピーカーマイクを
使って一瞬で会話開始。顔認証や音声
認識で会話できるモードもあり。



会話は自動保存

通話内容はテキスト化し自動保存。あと
から簡単に確認でき、ダウンロードもで
きます。2次利用可能。

【トランシーバー、インカム使用時】の従来の課題が解決!

課題1

専用機と携帯電話の**2台**
持ちだとコストも荷物も
かさむ



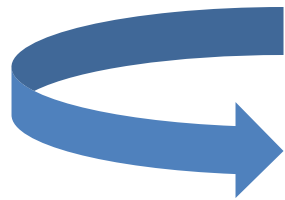
課題2

通信距離の制限があり、
近い距離しか通話が届か
ない



課題3

グループ数に制限があ
り、**混信、盗聴**のリスク
がある



低コスト

スマートフォンに無線機能を集約できるので専用機が不要になり、専用機のコストを削減することができます。



世界中で話せる

インターネット通信(4G,5G,Wi-Fi)を使用するため、インターネットが繋がるエリアであれば距離を気にせずどこでも通話できます。



大規模な運用

グループ数無制限、ユーザー数も無制限(検証は1グループあたり2,000ユーザー)の大規模運用に対応しています。



高セキュリティ

通信、データの暗号化によって通話を守っています。さらに高セキュリティなエンドツーエンド暗号化機能も提供可能です。

Buddycomが鉄道現場で必要とされる理由

かんたん

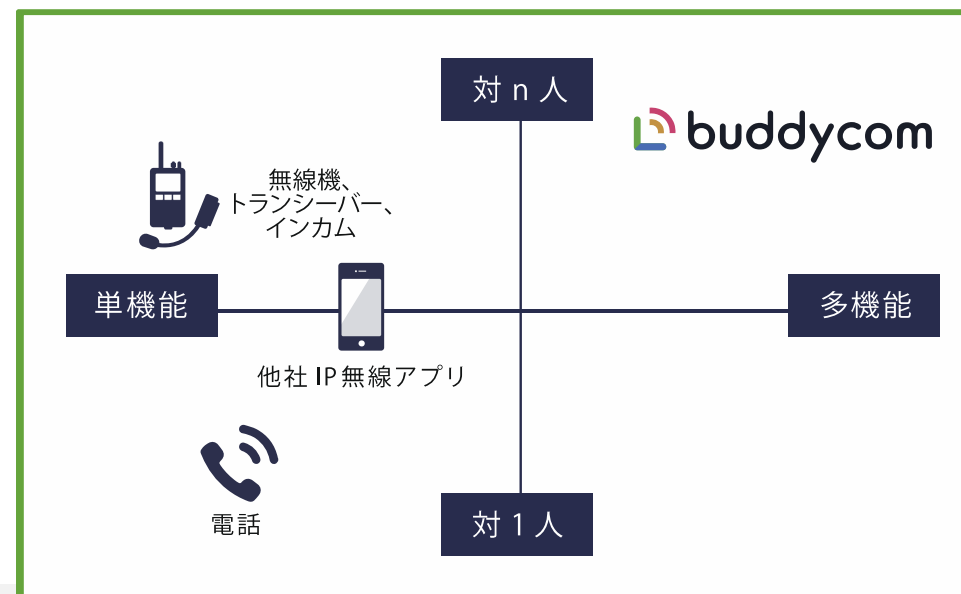
国籍、人種、
年齢に関わらず、
誰でも使える

速い

刻々と変わる
状況に対応した
情報共有のスピード

間違わない

操作ミスや想定外の
動きが起こらない



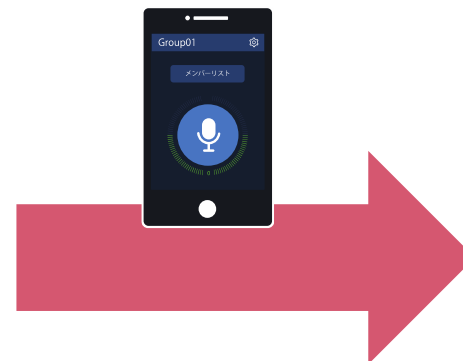
2. そんなあなたの現場の課題を解決

バディコムの 利用シーン

- 車掌長が、指令する責任者や駅員クルー含めた他スタッフとの連携で活用
- 1対1での会話しかできなかったが、グループ通話が可能になり重複情報の1ルート化



バディコムは
導入カンタン♪



若年層でなくてもメインボタンを押すだけで会話できるので、幅広い年代の方からご利用可能！

音声通話



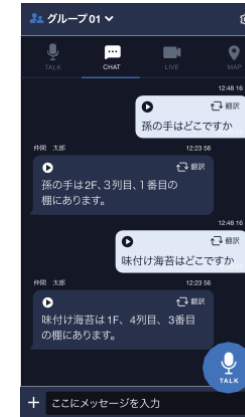
● グループ通話、双方向通話、マルチグループ受信

- ・ボタンを押すだけでグループのユーザーへ一斉に発信できます。
- ・無線機と違い、相手の終話を待たずに発信できる双方向での通話も可能です。
- ・複数グループの会話を受信することもできます。

● メリット

話すまでのステップが少ないので、不明点や確認したいことがすぐに誰かに聞けるため、現場で働く方の不安が軽減されます。

チャット



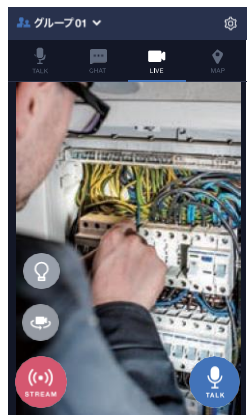
● 音声テキスト化、履歴再生、定型文、翻訳

- ・話した内容が即座にテキスト化されます。
- ・話した内容は自動で保存されるため、後から再生できます。
- ・定型文を10個まで作成できるので、定期的なアナウンスなどに便利です。
- ・複数言語への同時翻訳ができるため、多国籍な現場でも通訳を介さず情報共有できます。

● メリット

聞き逃したことを後から何度でも確認できます。多国籍な現場でも円滑なコミュニケーションを実現します。

ライブキャスト(映像共有)



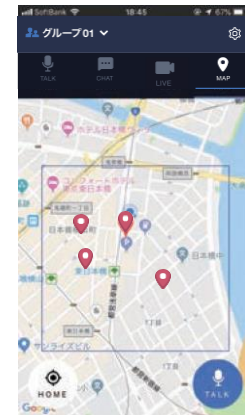
● 映像共有+音声通話

- ・現場の状況をライブ映像で共有しながら会話ができます。
- ・高画質な映像を低遅延で複数人と共有できるので、現場の遠隔支援に活用できます。

● メリット

音声や画像だけでは伝えにくい情報でも、映像を見せながら会話することで、正確な情報共有を実現します。

MAP 通話



● 位置の確認、範囲通話

- ・ユーザーの位置情報の確認ができます。
- ・MAP上にいるユーザーのうち、枠で囲ったユーザーだけに発話することができます。

● メリット

緊急時に現場に近いユーザーとのみ話したい、同じエリア内で情報を共有し、連携を図りたいといったニーズに応えます。

3. 鉄道現場の情報連携に必要な機能がBuddycom1つで

エンドツーエンド暗号化(E2EE)



● 機能

1つのデバイス（たとえばスマートフォンやPC）でメッセージを暗号化し、送信先のデバイスでしか復号できないようにする技術。音声・チャット・映像・位置情報のE2EE対応を実現しております。

● メリット

万が一、通信やサーバーでの傍受がされても、解読できないため、機密性の高い現場でも安心して利用することができます。

ディザスタリカバリー対応



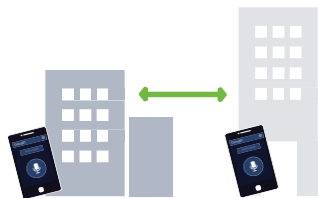
● 機能

サーバーは日本だけではなく、アジア、ヨーロッパ、北米の4リージョンの構成で同時稼働しております。障害発生時は自動で切り替え、24時間365日のサービス提供を確実なものとしております。

● メリット

災害などの発生時にも利用することができるため、ミッションクリティカルな現場でも利用することができます。

企業間通信



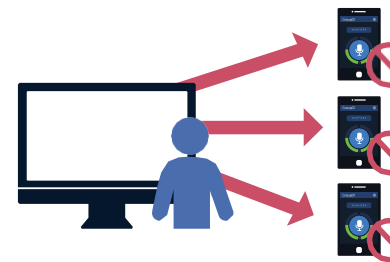
● 機能

契約が異なる企業のユーザー同士でも、1つのグループを作成し、グループコミュニケーションが図れる独自サービスです。

● メリット

同じ現場で働いている別会社、現場と本社でのコミュニケーションができます。また予実管理の都合上、部署ごとに分けて契約を行った場合でも、異なる契約ユーザー同士でコミュニケーションができます。

アプリ設定の一括管理・機能制限



● 機能

管理コンソールでスマホアプリの設定や機能を一括管理できます。ユーザーの予期せぬ操作、設定変更も防止できます。

● メリット

たくさんのユーザー数でも、簡単な管理を可能とし、社内統制の徹底ができます。

3. 鉄道現場の情報連携に必要な機能がBuddycom1つで

簡単



初期費用



導入コスト



スマホがあれば初期費用もかからず、アプリをインストールするだけで簡単に利用開始。シンプル操作で導入コストもかかりません。

アクセサリ(周辺機器)を利用すれば、ハンズフリーで通話できます。

必要な構成

iOS Android



Buddycomアプリ



スマホ/タブレット/PC



データ通信/Wi-Fi

+



周辺機器 (オプション)

3. 鉄道業界の情報連携に必要な機能がBuddycom1つで

鉄道現場のニーズに合わせて、様々なアクセサリを取り扱っています



■ 周辺機器の使い方

- 駅構内などはイヤホンマイクを活用。
- 通話ボタンを押している間だけ発話。
- 騒音現場はスピーカーマイクを使用。
- イヤホン部分は交換できるので、衛生的。マイク本体は使い回し、イヤホンは全員へ配布。

[全ての周辺機器を見る](#)

ベーシックな屋内向けの有線イヤホンマイクを始めとし、製造・建設業では防水・防塵、ノイズキャンセラーが備わった屋外向けの無線スピーカーマイク、ハンズフリーでLivecast（映像配信）機能を使いたい現場ではスマートグラスと言ったように、様々な現場のニーズに合わせて、多種多様なアクセサリを取り扱っております。

4. お客様活用事例



東海旅客鉄道株式会社

導入事例を見る

「今では私たちに無くてはならないツール」 ～幅広い年齢層の乗務員全員に使いやすいと評判です～

使用機能: グループ通話、通話履歴の再生

導入前の課題

PHSや携帯電話で1対1の会話しかできておらず、全クルーと情報伝達できていなかったことが課題。また情報伝達の際に微妙にニュアンスの違いが生じることも懸念点であった。

利用シーン

- ・新幹線車内やホームでのお客様対応、車両故障対応が複数重なった時など、乗務員間で迅速に事象の共有で利用。
- ・他列車にもすぐに連絡できるため、遺失物や他列車の切符が発見された等で連絡が必要な時に、当該の列車への連絡が大変迅速に対応できている。

導入の効果

- 音声通話での一斉発信によって、全スタッフへの通知・確認ができるため、的確に役割分担することで大変スムーズに対応できている。
- 指令から車掌への情報伝達は、乗務員室に設置された指令電話で行い、巡回等で不在の時は留守録に伝達内容を残していたが、グループ通話でいち早く乗務員に伝達できる。
- 音声の聞き直しができるため、聞き取りにくい時などにも対応を可能に。



[導入事例動画を見る](#)



4. お客様活用事例



東日本旅客鉄道株式会社

導入事例を見る

「広くて階層が多い駅構内でも、隣にいるような会話」 ～新宿駅は1日に約77万人のお客さまがご利用されます～

使用機能: グループ通話、音声テキスト化、チャット、ライブキャスト

導入前の課題

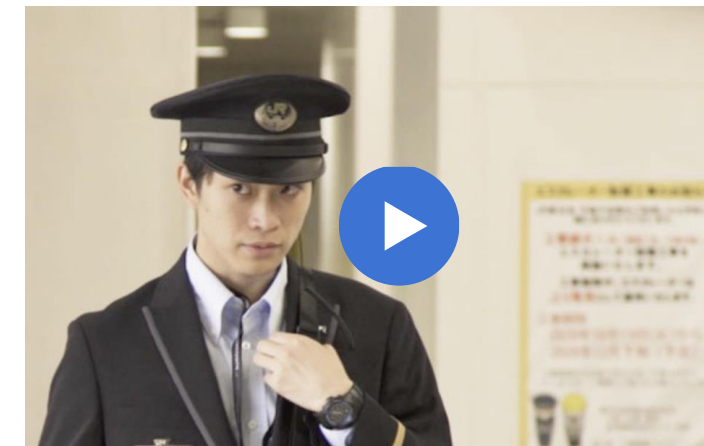
大規模イベントに備え、多数の応援者が駆けつけることから、全ての係員が必要な情報を必要なタイミングで共有できる連絡手段構築の必要性を感じていました。

利用シーン

- ・駅長事務室と輸送担当、サービスマネージャーとの連絡、通常時の列車運行の情報提供、異常時の応援要請などにBuddycomを利用。
- ・国立競技場や東京体育館でイベントが開催される際の情報共有に利用。
- ・ラッシュ時など、ライブキャストを使うことで映像で混雑状況を共有。

導入の効果

- サービスマネージャーは、タブレット端末、IP無線機、PHSの3種類の機器を一緒に持ち歩く必要があったが、Buddycomを導入することでタブレット端末1台に統一することができた。
- 繁忙期では応援者も含めた駅全体の情報共有ツールとして活躍した。
- 通信費用のランニングコストが下がった。



[導入事例動画を見る](#)



iPadと周辺機器を利用

4. お客様活用事例

相模鉄道様 × セントラル警備保障様

プレスリリースを見る

相模鉄道とセントラル警備保障、AI画像解析技術と企業間通信を併用、企業や所属を越えた連携

複雑に絡み合う日本のインフラ、1分1秒を争う鉄道業界で活用される「企業間通信」
Buddycomは、異なる企業間でも共通のグループを作成しリアルタイムに会話できる「企業間通信」機能の提供により相模鉄道様とセントラル警備保障様の情報共有のためのプラットフォームとして利用されている。

利用シーン

- ・駅構内のスタッフ、電車の乗務員、指令室にいる指令社員、駅や新幹線を警備巡回する警備員、車両の点検・整備を行うメンテナンススタッフ、本社や支社で業務を行うオフィス社員、年末年始や大型イベント時に応援に駆け付ける応援社員などが利用。
- ・監視カメラでAI解析し、音声通知を受けた駅係員が、お客様の元にお伺いしてサポートしている。

【企業間通信の他の例】

建設現場なら・・・協力会社や資材の仕入れ先、ドライバーがつながります
イベント運営なら・・・主催者と運営会社の進行スタッフや案内スタッフ、警備会社がつながります
空港なら・・・グランドスタッフ、航空機の整備士、空港施設社員、警備会社がつながります



監視カメラでAI解析し、Buddycomに音声&テキストで通知



[企業間通信について](#)

労働人口が減っている今こそ... 現場に「仮想従業員」を配置

SOLUTION



with Buddycom

定点カメラ × AI

店舗内の状況に応じて、お客さまが同じ売場に滞在している場合や混雑検知、不審者検知など、リアルタイムに行います。

動画 1



Buddycom with Things その他IoT連携も随時開発中

Buddycomは、人と人のコミュニケーションだけでなく、人（Human）と、あらゆる情報（Things）の、コミュニケーションを可能にします。



Buddycomを試してみませんか？

Buddycomは10ユーザーまで1ヶ月無料でトライアルができます。
実際に触ってみて、使い心地をお試ください。

無料トライアルを申し込む

トライアル費用は発生しません。
トライアル終了後は、解約等の操作は必要ありません。



お役立ち資料ダウンロード



The screenshot shows the Buddycom trial sign-up page. It features the Buddycom logo at the top, followed by the text "Buddycomを試してみませんか?". Below this, it states "10ユーザーまで、1か月間無料で試せます。" and "メールアドレスを入力すると確認コードが届きますので、トライアル版の登録をしてください。". There is a text input field for the email address, a "戻る" (Back) button, and a "Buddycomを始める" (Start Buddycom) button. A link "既に登録している方はこちら" is also visible.

無料トライアル手順はこちら

7. 会社概要

会社名	株式会社サイエンスアーツ
所在地	東京都渋谷区渋谷1丁目2-5 MFPR渋谷ビル5F
代表者	代表取締役社長 平岡 秀一
設立	2003年9月19日
資本金	5,000万円



ミッション	世界中の人々を美しくつなげる
事業内容	デスクレスワーカー※をつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom(バディコム)」の開発・販売
Buddycomリリース	2015年9月

※デスクレスワーカーとは机の前に座らない最前線で活躍する労働者のこと。
農業、教育、ヘルスケア、小売、ホスピタリティ、製造、輸送、建設などの産業に従事しております。



大手企業からSMBまで

600社を超えるお客様が導入中

ホームページを見る

無料トライアルをする

お問い合わせ

